

別紙報告書ノ印度勞働組合總聯合ノ決議ニ基キ
西尾末廣

印度ノヒューメン氏ノ主張ニハ賛成スルモノデアルト買頭シ國
社系大矢省三等ノ唱フルアジア勞働會議ト混同セシメザルコト、
日本側代表トシテ最モ造詣深キ鮎澤、米窪、坂本ノ三名ガ菊川
勞働代表ヲ指導スル意味ニ於テ萬事打合せスルコトガ妥當ナリ
ト述ベ

議長ハ之ニ對シ支那及印度ガ未ダ態度ヲ決セザルニ日本側ノミ
ガ突キ進ンデ協議ヲスルコトハ如何カト思ウ總テハ代表ニ一任
スル

右意見開陳ノ后菊川勞働代表及鮎澤ニ一任スルコトニ決シ會議
ハ五月九日多買又ハコロソボトシテ之ガ出來得ザル時ハ伏見
丸船上若クハジュネーブニ於テ會議ヲ開催スルコトニ大体態度
ヲ決定セリ

(5) 日本貨排斥ニ關スル件

米窪書記長ヨリ別紙參考資料ヲ提示朗讀シ

一、日本商品ノ不正競争

一、搾取勞働ノ產物デアリ英國等ニ比ベテ少年工婦人勞働者ニ深
夜業ヲ強ヒル結果デアル

一、海運貿易者ニ政府ガ一千三百万圓ノ手厚イ補助ヲシテ居ルコ
ト

一、商標ノ偽造ガ行ハレテ居ル

等々ヲ説明ノ后左ノ通り夫々質問又ハ意見ノ開陳アリ

議長濱田

只今ノ説明ニ依レバ貨銀値上云々ガ問題ノ要點デアツタト思ウ
此非常時ニ直面シテ無暗ニ貨銀値上ヲ實施スルコト、ナラバ現
在デサヘ喧マシク叫バレツ、アル「ソシアル、ダンピング」ハ
一層盛ントナリ遂ニハ日本ノ產業界ヲ破綻ニ導キ同時ニ輸入超